

危機管理型水位計の設置について

1 危機管理型水位計について

通常の水位計は設置費等が高額であることから、全国的にも中小河川への設置が進んでいなかったため、国土交通省が、洪水時の水位観測に特化した安価な水位計を開発したものです。

危機管理型水位計は1基当たり100万円以下、5カ年は無給電で稼働、メンテナンスフリーが標準仕様となっています。

2 岩手県における設置方針

危機管理型水位計は、水位計が未設置の河川など、県内に約300基を設置する予定です。

原則、橋梁への添架とし、平成30年度内に全箇所を設置・水位情報の公開を行う見込みです。

3 その他

危機管理型水位計は、8月頃から順次設置する予定です。

設置に当たり、橋梁への添架に係る協議が必要となりますので、橋梁の図面等について、広域振興局土木部等に提供をお願いします。

危機管理型水位計で観測した水位情報は、専用のホームページで閲覧することとなります。

なお、市町村において危機管理型水位計を設置し、上記の専用ページにより水位情報の公開を希望する場合は、国・県等で構成する協議会への参画が必要となりますので、河川課までご相談をお願いします。

【閲覧画面イメージ】

③水位計詳細画面（ハイドログラフ）



④水位計詳細画面（河川横断面図）

